

ふるさと

だい ごう ねん がついつち てんりきょうごがくいんに ほん こ か
第130号 2026年9月1日 天理教語学院日本語科



ごあいさつ



てん り きょう ご がくいん そつぎょうせい みな
天理教語学院の卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか？

てん り きょう ご がくいん みな みち おし にほん ご い ひび す
天理教語学院で学んだお道の教え、日本語を活かして、ようぼくとして日々を過ごしてくれている
こととおもいます。

さて、今年の日本語科には、ベトナム、韓国、台湾、モンゴル、アメリカ、ブラジル、メキシコ、コロンビ
アから来た25名が学んでいます。4月6日に入學式がありました。それから毎日、日本語の勉強をしています。みんなたす
け合って、頑張っています。この「ふるさと」が皆さんの手に届くころには、この25名は、生活もなれ、日本語も大分わかるよ
うになり、おちばでの生活を楽しんでいるはずです。

そして、卒業生の皆さんは、おちばで学んだ日本語を使っていますか？天理教の教えをいつも心において生活してい
ますか？おつとめをつとめていますか？おさづけを病気の方に取次いでいますか？おちばで経験したこと、学んだ事、楽
しかった事、まだ教祖の事を知らない人へ伝えていきますか？親神様が望まれる、皆が明るく、楽しく、たすけあう世界に
いちにちはやいころ、いよろこぶかん ほかひと おやさま おも ひろ ねが
一日も早くなるように、やさしい心で、生かされている喜びを感じて、他の人に教祖の思いを広げてください。お願いします。

2026年1月26日に、教祖140年祭がおちばでつとめられました。教祖がお姿をかくされて140年たったわけです。長い
時間がたっていますが、今に生きる私たちは、教祖から教えていただいた教えが伝わっているわけです。またこれからも、
わたしがまわひと こども まご おし つた
私たちが周りの人に、子供に、孫に、この教えを伝えていかなければなりません。また、毎日の生活で教えを活かして、お
つとめをして、おさづけを取り次がなければいけません。これが、教祖に喜んでいただけます。

教祖はご存命。姿はありませんが、おちばに住んでおられます。そして、私たちの事をいつも気にかけ、時には心配し
てくださっています。そして、私たちの帰りを待っていてくださいます。ですから、皆さんも、できるだけ、おちばに帰って来
てください。そして、教祖にご挨拶した後、語学院に来てください。待っています。

てんりきょうごがくいんこうちよう
天理教語学院校長

うえむらたけお
上村雄郎



やまぐちいくえ こうち
山口育恵(高知)

みなさん、お元気ですか！

私は今年の3月で日本語科を終えることになりました。私が日本語教師を目指したきっかけは大学生の時に日本語科生と交流会をし、元気で面白い学生のみなさんの日本語のお手伝いがしたいと思ったからです。日本語科に入ってから、毎日が楽しくて、授業中もみなさんの国のいろいろなお話が聞けて、私自身、とても勉強になりました。これからも、同じ道のようにぼくとして一緒に陽気ぐらしをしていきましょう！みなさんのことをずっと応援しています。またおちばでお会いしましょう！今まで、ありがとうございました！



♡♡ 結婚おめでとう ♡♡



チョ ヘジョン
曹 惠晶

(ヘジョン/韓国/八木/2019)

2025年11月28日

Kakizoe, Eli Maranhão

(エリ/ブラジル/朝倉/2014)

Da Silva Farias, Simone

(シモニ/ブラジル/朝倉/2019)

2025年10月21日



らいほうしゃ
来訪者のみなさん

けいしりやく
敬称略

こくせき きょうかい にゅうがく とし
〈国籍／教会／入学した年〉 2025年4月～2026年3月



ダニー

カンボジア／加古／2021



エイミー

アメリカ／名東／2022

ダワ

モンゴル／筑紫／2019



マリア

コロンビア／繁藤／2022



ビーヤン(2000)

ベイビー(2007)

フィリピン／岡山



たかうま あやこ
高馬 絢子

あしつ もとにほんごか
芦津／元日本語科



アオ

台湾／本愛／2022



キン

台湾／嶽東／2019



クラリッサ

ブラジル／南海／2005



トラビス

アメリカ／高岡／2023



シュウ

台湾／山名／2022



ミカ(左)、ミエ(中央)

ブラジル／本芝／2009



ローケン

台湾／山名／2024



ジュン

ブラジル／南海／2022



ヒカリ

ブラジル／河原町／2019



スミン(2011)

エギョン(2014)

韓国／八木



ジホ

韓国／八木／2014





ジェイ

しきのり
タイ／城法／2019

タイス

あさくら
ブラジル／朝倉／2013



ひかり
イエジン(左)

かんこく や き
韓国／八木／2013

ちゅうおう
エイゼリン(中央)

とうほん
フィリピン／東本／2013

みぎ
フリ(右)

にほんぼし
コロンビア／日本橋／2013



ちゅうおう
ジョー(中央)

ひがしちゅうおう
ハワイ／東中央／2013

教祖140年祭
ようこそおかえり







にほんごか いちねん 日本語科の一年

がつ おいか りつきよう ねんど にゅうがくしき
4月6日 立教188年度 入学式

2025年度は、6の国と地域から22名が入学しました。不安
と期待を胸に、おちばでの留学生活がスタートしました。



がつようか にほんごか
4月8日 日本語科オリエンテーション

どんな先生や友達がいるのか、ドキドキしながらみんなと
楽しくゲームをし、そのあと、校内見学やこれからの生活
に必要なことを聞きました。

がつこのか にほんご じゅうぎょうかい いし
4月9日 日本語授業開始

この日は教室で日本語の授業を受ける初日となります。
これからどんなことを勉強するのだろう。日本語の勉強は
難しいだろうか。期待と不安の中、授業が始まりました。

がつ にち ぜんきぎょういっせい
4月29日 全教一斉ひのきしんデー

本部神殿中庭での出発式の後、今年は丹波市小学校の
除草ひのきをさせていただきました。



がつなの か しゅうれんじゅうぎょうかい いし
5月7日 修練授業開始

将来、それぞれの国の教会や拠点などで、おつとめがつと
められるように、おてふり、鳴物をしっかり習いました。

がつこのか げんごべつけんしゅう
5月9日 言語別研修

少し日本の生活にも慣れたころ、勉強面や生活面などで
不安に感じていることについて、同じことばを話す仲間や、
海外部のアドバイザーと自国の言語で素直な気持ちを話
し合いました。



がつ にち げんごべつけんしゅうぎょうかい いし
5月12日 言語別教義授業開始

日本語による教義の理解を目指すには、まず母語でしか
り理解しておかなければなりません。そこで、学生はそれぞ
れの言語に分かれて、講師の先生の授業に熱心に耳を傾
けました。

がつなの か しんぼくかい
6月7日 親睦会

今年も海外部、語学院の建物を使用して、「室内運動会」
が行われました。日本語科生同士だけではなく、普段あ
まり話したことがなかったおやさとふせこみ科の先輩たちや
TLIのスタッフとも楽しく交流ができました。





7月11日 前期研修

自分が初めておちばに帰って来た時、どんな気持ちだったか、おちばの方々がどのように迎えてくれたのかを思い出し、帰参者の気持ちについて考えました。さらに、これから自分たちはどんな態度でひのきしんをさせていただくか、グループで話し合い、一人ひとりが目標を立てました。



7月14日 天理高校生との交流会

はじめにそれぞれの国の言葉であいさつを行い、日本語を使ったゲームをしました。さらに、おちばがえり期間中に役立つゲームを教わりました。



7月25日～31日 こどもおちばがえりひのきしん

厳しい暑さの中、一人でも多くの子供たちに喜んでもらおうと、38母屋の清掃ひのきしんと、忍者村ひのきしんを勇んでつとめました。



9月12日 「さんさいの里」ひのきしん、野外活動

ひのきしんでは草引きをしたり、テントをたてたりしました。昼は、みんなでカレーを作って食べ、午後からは、グループにわかれてフォトテリングやフリスビーゴルフ、ペタンクなどの野外アクティビティを楽しみました。



9月26日 履物世話取りひのきしん

9月本部月次祭では、靴べらを渡す、帰参者の靴を拭くなどのひのきしんをさせていただきました。戸惑いもありましたが、最後には進んで靴べらを渡せるようになりました。



10月8日～10日 中期研修

「学生やスタッフ同士の親睦を深め、自らの信仰を見つめ直し、成長するきっかけ作り、また卒業までの目標設定」を目的に研修を行いました。自分の日々の通り方を考える貴重な時間となりました。また、ごみ拾いのひのきしんもさせていただきました。3日目の校外学習はFarm雪岡（ぶどう園）へ行き、ぶどう狩りを楽しんだ後、大神神社を見学しました。





「中期研修～卒業までの目標～」

- 友達と仲良く、楽しく勉強して、お互いに助け合う。
- 日本語科の中で陽気ぐらしが出来るように生活が大変な友達がいたらみんなで手伝いたい。
- 文法と聴解、おてふりを頑張ります。
- 勇気を出して誰にでも自分から挨拶をして話しかける

11月18日 日本語による教義授業開始

これまで母語で習った基本教理を、日本語で学び、さらに教理の理解を深めました。

11月29日 「ほこてんり」参加

天理市にある「親里大路のイチョウ並木」で行なわれたイベント「ほこてんり」に参加しました。民族衣装を着て、旗を持ってパレードをしながら紅葉を楽しみました。



12月12日 史跡見学

今年も親里周辺の教祖とゆかりのある史跡を歩かせていただきました。各所で、青年会海外人材派遣生やスタッフからの説明を聞き、教祖をより身近に感じることができました。気持ちのいい天気の中楽しく歩かせていただきました。



1月5日～7日 本部おせちひのきしん

今年も大勢の方がおちばに帰って来られました。帰参された方々に少しでも喜んでいただこうと、笑顔で元気いっばいに給仕接待ひのきしんをさせていただきました。



がつ にち にほんご か いがい りやうたいさい
1月16日 日本語科・海外ふるさと寮大祭まなび

にほんご かせい いちねんかん ぶじ とお
日本語科生として、一年間無事に通らせていただいたこと
への感謝の気持ちを持ち、スタッフ・学生一同、心を合
せて十二下りのおつとめをつとめさせていただき、その後
かいがい ぶなやま まさなお じやう こうわ き
海外部中山正直次長の講話を聞かせていただきました。



がつ にち こうきけんしやう
1月23日 後期研修

こうほんて りんきやうきやうそでんだいじゅうしやう とびら ひもと おやさま
稿本天理教教祖伝第十章「扉ひらいて」を紐解き、教祖
のひながたを改めて学ぶとともに、教祖140年祭の意義
を再確認しました。また、ようぼくとして、これからどのように
通らせていただいたらいいのかを、率直な気持ちで話し合
いました。



がくせいもくひやう わたし
学生目標 「私は~~ようぼくになる!!」

- え がお ひろ
・笑顔を広められるようぼくになる!!
→ あさお しょうじき はたら ひと
→ 朝起き、正直、働き、そして、人をたすける
- くる ひと ことば
・苦しんでいる人にやさしい言葉をかけたい!!
- たの じぶん そっせん
・頼まれなくても自分から率先してひのきしんをする!!
じぶん うご
自分から動けるようぼくになる!

がつにじゅうよっか にちおやさま ねんさいとくべつ
1月24日~30日教祖140年祭特別ひのきしん

も や せいそう しんでん せっち つめしょ
38母屋の清掃や神殿のいす設置、詰所でのひのきしんな
ど、させていただきました。この年だからこそできる貴重な
ひのきしんとなりました。



がつ にち だい かい たいかい
2月16日 第21回スピーチ大会

ねん にほんごがくしやう しやうたいせい たいかいとうじつ
この1年の日本語学習の集大成となるスピーチ大会当日
を迎えました。原稿を何度も書き直し、懸命に練習を重
ね、その成果を各々の思いを込めて発表しました。



スピーチより



鄭 珉伎

(ミンギ／韓国／敷島)

「必ず芽は生える」

夏休みに「本部ひのきしん隊」の一か月隊に入隊しました。一か月隊の中で、今でも心に残っている言葉があります。それは、「おちばへの伏せ込み。必ず芽は生える。」です。時間がたって振り返ると、本当に力をいただき、ありがたい一か月を過ごさせていただいたなあ、と感じています。私はおちばに来て、ありがたいと感じることの大切さが分かって、今も學んでいるところです。本当にありがたいです。



李 寅漢

(イナン／韓国／八木)

「天理教とは？」

皆さんは天理教とは何だと思いますか？私は前までは天理教とは？という質問に答える自信がありませんでした。しかし、この経験から私は簡単に正確な答えではないかもしれませんが、次のように話そうと思っています。天理教とは、本当はなくなっている命をたすけられる宗教です。今の辛い状況や大変なことの理由を知り、それを無くすることができる宗教だと思います。



魏 床米

(サンミ／韓国／八木)

「TLIに来てから」

私がこの生活を乗り越えることができた理由は、韓国でいつも応援してくれる家族や友達、そして「できる」と声をかけ続けてくださったTLIの先生方や友達のおかげだと思います。一人ではなく、たくさんの人と一緒に歩むことができたからこそ、ここまで来られました。もし、おちばで生活していなかったら、自分自身を振り返ることもなくそのまま今までと同じように生きていたと思います。ですが、今は、自分自身の考え方、通り方を見つめなおす機会をいただいたことに感謝しています。ありがとうございました。



金 智媛

(ジウォン／韓国／八木)

「サランへ」

日本に来てからずっと気になっていたことがあります。それは、なぜ日本では「愛している」という言葉があまり使われないのかということです。また、言葉で気持ちを伝えることは、相手のためだけでなく、自分自身のためにもなると思います。気持ちを心の中にしまったままだと、後で「言えばよかった」と後悔することもあります。たとえ少し照れくさくても、素直な言葉を伝えた経験は心に残る大切な思い出になります。相手の反応がどうであっても、自分の気持ちに正直でいられたということ自体に意味があるのではないのでしょうか。だからこそ、完璧な言葉でなくても構いません。自分なりの形で、相手や状況を思いやりながら気持ちを伝えることが大切だと思います。最後に、みなさんのおかげで私は楽しい留学生活を送ることができました。

みなさん、サランへ！



申 守仁

(スイン／韓国／京城)

「いつもそばにある、幸せ」

TLIに入って、多くの経験をする中で、大切なことに気づきました。それは「いつも幸せはそばにある」ということです。目標に向かって頑張る過程の中で自分が成長できていることに気づくことができました。考え方を变更后からは、結果よりも過程に目を向けるようになり、楽しいと思える時間が少しずつ増えていきました。この一年は私にとって、大きく成長できた一年だったと思います。私たちのそばには、いつもたくさんの幸せがあります。ただ、それに気づけるか気づけないかの違いだけです。





金 珉成

(ミンホン／韓国／京城)

「旅路」

おとしはずっと一人で過ごしていたので、すべて自分
中心でした。当たり前だと思っていたことも、たくさんありま
した。しかし去年、TLIに来るといい機会をいただきました。
皆と出会う中で、ときには人の目を気にしたり、
小さなことでも誰かを気にかけたりしながら、自分を
振り返り、自分自身の欠点とも向き合うことができました。



金 湊璘

(イェリン／韓国／京城)

「寝坊で気づいたメッセージ」

心のどこかで「私は本当に天理教を信じているかな？」
「天理教についてよく分かっているかな？」という気持ちが
ありました。不思議な夢があってから、神様のお話が、T
LIの生活を通して、もっと分かるようになりました。そし
て、最初に話した「自分が天理教を信じているのか」とい
う疑いはなくなっていきました。私は夢で見せてもらった
内容を教祖殿に行き、教祖に伝えました。「ゆめでなり
ともにをいがけ」は本当だったんです。



李 佳傑

(リー／台湾／山名)

「日本語とともに過ごした一年」

日本に来るまえに、日本語を全然はなすことができま
せんでした。不安や挫折を感じていました。そのため毎日
予習や復習をたくさんしました。TLIの先生たちは丁寧に
教えてくれるので少しずつ簡単な日本語が話せるよう
になりました。先生たちにはとても感謝しています。多くの
人の支えがあったから、この一年間を最後までやり切ること
ができました。



謝 佳好

(チェリー／台湾／山名)

「一年の成長」

4月に入学してから、もうすぐ一年が経ちます。この
一年間、大変なことも嬉しいこともありました。そのいろ
んな経験を通して自分が成長したと感じています。そし
て一番の成長は、信仰心が深くなったことです。私は、
天理教についてあまり知りませんでした。家族と参拝す
るだけで、深く考えたことはありませんでした。しかし、
TLIに来てから、天理教の教理を学んで、前より少しわ
かるようになりました。さらに以前は、自分から夕づとめ
に行くこともありませんでした。しかし、おちばで生活し
ていて、気持ちが良くないとき神殿に行くと、すぐよくな
りました。そのとき親神様が私を守ってくれたと
感じました。今では毎日、夕づとめに行っています。こん
な変化を感じて、自分でも驚いています。



劉 嫻齊

(ハナ／台湾／山名)

「不安から安心へ」

6月に、私はお風呂場で転んで、足をけがしてしまいま
した。そのときはとても痛くて、不安で、心も体も大変で
した。TLIの先生と友達、そして教会の先生も、とても
心配してくれて、たくさん助けてくれました。声をかけて
くれたり、必要な事を教えてくれたりして、私はとても
安心しました。そのとき初めて「一人でなくてもいい」と
思いました。人に助けをもらう事は、恥ずかしい事じゃな
いと気づきました。それから、分からない事があったとき
は、自分から聞くようになりました。この経験を通して、
私は人の助けを受け入れる大切さを学びました。そし
て将来は、私も誰かを助けられる人になりたいです。
困っている人がいたら、今度は私が声をかけられるよう
になりたいと思っています。



許庭宜

(ティンイー／台湾／山名)

「富士山が教えてくれたこと」

人生は山登りに似ていると思いました。人生には楽しい時もあれば、つらい時もあります。でもあきらめずに前に進めば、必ず目標に近づくことができます。富士山に登るとき、大教会長さんや友達など周りの人が助けてくれました。人生には、助けてくれる人が必ずいます。私はその人たちにとても感謝しているし、いつか自分も、誰かを助けられる人になりたいと思いました。私は栄養士です。将来、台湾に帰ったら、栄養の知識と日本語をつかって、たくさんの人の役に立ちたいです。



Munkh-Orgil, Sukhbat

(オリゴー／モンゴル／筑紫)

「ズートピア」

TLIは、私にとって「ズートピア」みたいなところでした。ズートピアは、動物たちが人間のように生活する町です。大きな動物も、小さな動物も、みんな一緒に住んでいます。みんなは、見た目や考え方が違ってても、同じ町で生活しています。校長先生の教義の授業の時、当たり前と言うことが天理教にはありません。歩くための足、見るための目、話すための口はすべて当たり前じゃないよ。感謝しなければならぬよ、と教えていただきました。私もその通りだと思っています。だからズートピアの皆さん、オリゴーというウサギを手伝ってくれてありがとうございます。いつも抱きしめて、大丈夫？と聞いて、何かあったら言っというと声をかけてくれてありがとうございます。心から感謝しています。TLIは私にとって大切なズートピアです。



Suzuki Mitsui, Josef Kanzi

(カンジ／メキシコ／佐野原)

「幸せの道さがし」

毎日の小さい瞬間にいつも幸せがあります。大変な日やしんどい日にも幸せがあることを忘れないでください。人生に大変なことがあるからこそ、幸せな瞬間が特別に感じられます。その幸せな瞬間に気づけるか、幸せな瞬間をどうやって楽しむかはみなさんの心で決まります。



Marcela, Muñoz Pereira

(マルセラ／コロンビア／津)

「どんな日もいい日」

全ての経験や事情は、他の大事な教えのためです。悪い日はなく毎日がいい日です。毎日や人生、経験や親神様からのかりものもありがたいです。教祖は私達が常に満ち足り、明るくあるようにと導いてくださいます。大変な状況は、私達が人間として成長し、自分の心の使い方についてより深く考える助けになります。



Fukami Yoshitome, Bruno Kendi

(ケンジ／ブラジル／南海)

「TLI:成長、感謝、信仰」

TLIでは、おてふりや鳴物の授業があります。これらの授業は、私の信仰の考え方を大きく変えました。実は、2021年におさづけの理をいただいたとき、私は天理教の教えについて、ほとんど何も分かっていませんでした。お歌を踊ることも、鳴物をするのも、その意味も、よく理解していませんでした。ですから、TLIに入って、最初はとても難しく、何度も「できないかもしれない」と思いました。でも、みなさんが努力し、失敗しながらも、何度も挑戦する姿を見て、あきらめずに続ける力をもらいました。



Ishii Saijo, Vinicius Jun

(ジュン／ブラジル／^{このはな}此花)

「TLI ^{いちねん}の一年」

TLIもいろいろなひのきしんの^{きかい}機会があります。その中^{なか}で
忍^{にん}者^{じゃ}村^{むら}のひのきしんや、田^た植^{うえ}えと稲^{いね}刈^{かり}りなどのひのきしん
が最高^{さいこう}だったと思います。こどもおちばがえりに参加^{さんか}したこ
とがなかったの^で、忍^{にん}者^{じゃ}村^{むら}のひのきしんに参加^{さんか}できるのが
うれ^{うれ}しかった^{です}。子^こども^{たち}の笑^え顔^{がん}を見^みられて、力^{ちから}をもら
って^きました。子^こどもの^{ところ}から伝^{でん}道^{どう}庁^{ちょう}の活^{かつ}動^{どう}に参^{さん}加^か
い^るので、その活^{かつ}動^{どう}で子^こども^{たち}のた^{ため}に、た^くさ^ん準^{じゅん}備^び
を^して^くだ^さったス^たッフ^ふのお^かげ^で、参^{さん}加^かで^きたり、子^こども
た^ちも遊^{あそ}ん^だり^でき^ました。そのス^たッフ^ふのよ^うに、私^{わたし}は^今
の^こども^{たち}に^この感^{かん}謝^{しゃ}の^きも^ちを返^{かえ}したい^{です}。だ^から、
忍^{にん}者^{じゃ}村^{むら}の時^{とき}、暑^{あつ}さや疲^{つか}れはあ^りまし^たが、子^こども^{たち}の
幸^{しあ}せのた^めに、笑^え顔^{がん}で頑^{がん}張^{ばう}り^ました。それ^で、天^{てん}理^りに^いる
う^ちにた^くさ^んひの^きしん^の機^き会^{かい}があ^るので、だ^んだ^んひ
の^きしん^の気^き持^もちを理^り解^{かい}で^きるよ^うにな^って^いま^す。

そ^して、今^{ことし}年^{ねん}お^やさ^ととふ^せこ^み科^かに入^{はい}る^ので、去^き年^{ねん}よりひ
の^きしん^が多^{おほ}い^{とお}も^い思^いま^す。感^{かん}謝^{しゃ}の^きも^ちを^もっ^と
感^{かん}じ^{たい}の^で、お^やふ^せで^も特^{とく}別^{べつ}な^{ひの}き^{しん}^が多^{おほ}い^{よう}
な^ので、ひの^きしん^をし^{たい}気^き持^もち^でお^やふ^せに^{はい}り^{たい}
で^す。



Imai, Nathália Miça

(ミサ／ブラジル／^{にほん ばし}日本橋)

「目^めに見^みえ^ない^もの」

ど^の行^{ぎやう}事^じも^{たの}し^かつ^たけ^ど、考^{かん}え^てみ^て、一^{いち}番^{ばん}最^{さい}初^{しよ}に^う浮^う
ん^でき^たの^はや^っぱ^りみ^んな^と過^すご^して^きた^何気^ない^日々^{び び}
で^した。い^{つも}楽^{たの}しく笑^{わら}え^て過^すご^せる^こと^がで^きた^のも^{みん}
な^のお^かげ^です。さ^{さい}な^こと^でも^{うれ}し^さを^{かん}じ^られる^こと
に^きづ^かさ^れま^した。あ^たり^まえ^だけ^ど、あ^たり^まえ^じゃ^ない
か^らこ^そ感^{かん}謝^{しゃ}^{して}い^ます。



Toyonaga, Emily Michi

(ミチ／ブラジル／^{こうち}高知)

「私^{わたし}は^{ひとり}一^{ひとり}人^{ひと}じ^じゃ^なか^つた」

私^{わたし}は^{ひとり}一^{ひとり}人^{ひと}で^ここ^まで^き来^きた^ので^あり^ませ^ん。家^か族^{ぞく}や^とも^だち^と
に^さえ^られ、そ^して親^{おや}神^{がみ}様^{さま}に^{まも}ら^れて、今^{いま}の^{わたし}私^{わたし}が^いま^す。
違^{ちが}う^{かんが}考^{かんが}え^や性^{せい}格^{かく}を^もつ^{ひと}人^{ひと}た^ちと^す過^なご^す中^{なか}で、私^{わたし}は^{すこ}し^{すこ}ず
つ^じ自^じ分^{ぶん}自^じ身^{しん}を^みつ^ける^こと^がで^きま^した。私^{わたし}は^これ^こま^で
出^で会^あっ^たす^べて^の人^{ひと}に^{かん}謝^{しゃ}し^{たい}で^す。少^{すこ}し^{はな}話^{はな}し^{ただ}け^の
人^{ひと}も、少^{すこ}し^{だけ}関^{かん}わ^つた^人も、私^{わたし}を^{きら}嫌^{きら}った^人も、私^{わたし}を^あ
愛^{あい}し^てく^れた^人も^その^{ひとり}一^{ひとり}人^{ひと}が^今の^{わたし}私^{わたし}を^つく^つて^くれ^ま
し^た。そ^の中^{なか}の^{だれ}誰^{ひとり}か^一人^{ひと}で^もい^なか^つた^ら、私^{わたし}の^{じん}人^{せい}生^{せい}は^き
つ^とと^今とは^{ちが}っ^てい^たと^{おも}い^ます。だ^から^{わたし}私^{わたし}は、出^で会^あっ^てく^れ
た^すべ^ての^{ひと}人^{ひと}に[「]あ^りが^とう[」]と^つた^えたい^{です}。人^{ひと}と^{はな}話^{はな}す
自^じ信^{しん}が^でき^てと^とも^うれ^いし^いで^す。こ^の感^{かん}謝^{しゃ}の^きも^ちを
わ^すれ^ずに、こ^れか^らも^じ分^{ぶん}ら^しく^ある^いき^{たい}で^す。



Nakashima, Emili

(エミリ／ブラジル／^{む や}撫養)

「お^とち^ばで^くら^す特^{とく}権^{けん}と^{しあ}幸^せ」

お^とち^ばで^の経^{けい}験^{けん}は、明^ある^い気^き持^もちと^{かん}謝^{しゃ}の^ころ^も持^もつ^て
体^{たい}験^{けん}す^るこ^とが^大切^{せつ}だ^と思^{おも}い^ます。な^ぜな^ら、私^{わたし}た^ちの^よ
う^に、お^とち^ばに^来て、こ^こで^日常^{にちじよう}生^{せい}活^{かつ}を^おく^{という}経^{けい}験^{けん}は、
だ^れで^もで^きる^わけ^では^ない^から^です。母^{はは}と^{でん}電^{でん}話^わで^{はな}話^{はな}し^てい^た
と^き、母^{はは}が[「]お^とち^ばに^いけ^て、TLIの^{とも}友^{だち}達^だが、よ^うぼ^くに
な^って^初め^てお^さづ^けを^とり^つぐ^のを^みら^れる^こと^は、と^とて^も
幸^{しあ}せ^だね。本^{ほん}当^{とう}に^す晴^はら^いい^こと^だよ。[」]と^いっ^てく^れま^した。
そ^の話^{はな}を^きい^て私^{わたし}は、母^{はは}の^い言^いう^と通^{とお}り^だと^{おも}い^ました。
み^んな^きつ^と、い^いよ^うぼ^くに^なる^と信^{しん}じ^てい^るか^ら、近^{ちか}く^に
い^られる^こと^を、と^とも^うれ^しく^{おも}い^ます。





Senda, Luana Manami

(マナミ/ブラジル/撫養)

「これからどう生きるか」

コロナウイルスはたくさんの人に大きな傷を残しましたが、このつらい悲劇が起きたことを私たちは忘れてはいけません。人類の歴史が進む中で、私たち人間はただの観客ではなく、自分の人生の主人公です。私は、失われたすべての命や引き起こされた苦しみを忘れないことがとても大切だと思います。その記憶を忘れないで、喜びをもって生活することで、陽気ぐらしに近づくとおもっています。私は周りの人と一手一つに暮らすことができますように、親神様と教祖だけでなく、愛する人や自分自身にも、感謝の気持ちをもって過ごしたいと思います。これからももっと努力していきます。



Watanabe, Rodrigo Akiyoshi

(ホドリゴ/ブラジル/明城)

「あなたは長男ですか」

みんなががんばっているのを見たり、自分で経験したりしながら、神さまが私にいつもメッセージを送ってくださっていると感じました。そして、ほかの人が私に目標をのぞんだとしても、それをあまり心配する必要はないと思うようになりました。なぜなら自分の心がさだまって、明るい心で正しく行動できれば、それらのことは大切ではないからです。正しい心でいれば、いつも神さまが友達や家族やクラスメイトをとおして、知らせてくださり、ささえてくださいます。ですから、私はこの1年、日本でここにいられて、皆さんと一緒に生活できたことに、心から感謝しています。



Hideshima, Luana Ami

(アミ/ブラジル/明城)

「スピーチ」

この一年間で、うれしいことも大変なこともありました。作文を書く中で、今までの私がどれだけ家族に守られ、愛されてきたのかをよく感じることができました。二回目の作文を書き直すことになったとき、自分の経験している苦しみが間違っているように感じました。しかし、自分自身ともう一度向き合うことができるいい機会になりました。楽しい時とつらい時の両方があったからこそ、ここでの経験が特別なものになったのだと気づくことができました。

2月21日 総合おつとめまなび

おやさとふせこみ科、日本語科のみなで、一年間の感謝が親神様、教祖に届くように当日まで一生懸命練習し、おつとめまなびではおつとめ衣を着て一手一つにつとめさせていただきます。



3月8日 立教188年度 卒業式

1年間親里でお育ていただいた感謝を胸に、空も心も晴れやかに門出の日を迎えました。日本語科を代表してミチさん(ブラジル/高知)がお礼のことはを述べました。



お礼のことは



この一年間は私たちにとって一生忘れることができない、大切な一年でした。はじめておちばにきた人もいれば、何回も来たことのある人もいます。しかし、私たちにとっておちばで生活することは、はじめての経験であり、

毎日が新しい発見と学びの連続でした。

TLIでの生活は簡単ではありませんでした。毎朝早く起きて学校参拝に行き、慣れない日本語で授業を受け、新しい文化やルールを学び、食事の時間も日本語で会話をし、おつとめの練習にも励みました。それが私たちの日常でした。今、振り返ってみるとシンプルな毎日のように思いますが、最初はついていくことに必死で、人間関係で戸惑ったこともありました。それでも先生方が根気強く導いてくださったおかげで、少しずつ成長することができました。その一つ一つの積み重ねが、今の私たちにつながっています。そして、難しい時期があったからこそ、私たちは互いに助け合い、支え合い、心を近づけることができました。共に笑い、共に励み合った日々は、何よりの宝物です。陽気ぐらしを目指して歩んだこの時間は、私たちにとって大きな幸せでした。

こうして無事に一年を過ごし、今日という日を迎えることができたことに、心から深く感謝申し上げます。私たちが安心して生活し、学び、成長することができたのは、決して私たちの力だけではありません。親神様と教祖にお守りいただいたおかげです。そして、いちれつ会、海外部、大教会や詰所の先生方、寮のスタッフの皆様、TLIの先生方が、いつも温かく支え、励まし、見守ってくださったからです。不安なとき、先生方がかけてくださった優しい言葉に何度も救われました。いろんな国からきた学生たちに日本語を教えたり、授業の準備や練習プリントを作ったり、それに私たちを気にかけてくださったり、見えないところでたくさん助けていただきました。そのすべてに心より感謝申し上げます。

これから私たち学生は、それぞれ違う道へ進んでいきます。おやふせに行く人もいれば、国へ帰る人もいます。大がくへ進学する人、仕事に就く人、少年会で活動する人、大教会でひのきしんに励む人もいます。それでも、みんなと過ごしたこの一年は本当に素晴らしい時間で私たちの心の中でずっと輝き続けます。ここおちばで学んだこと、感じたこと、そして大切な思い出を決して忘れず、それぞれの道をしっかりと歩んでいきます。感謝してもしきれないほどのご恩を胸に、これからも精いっぱい努力してまいります。本当にありがとうございました。



ねんど にほんごかせい しんろ
2025年度 日本語科生の進路

おやさとふせこみ科

せんしゅうか
専修科

しょうねんかい
少年会

せんもんがっこう
専門学校

しゅうしゅく
就職

だいきょうかい
大教会

きこく
帰国

めい
10名

めい
1名

めい
3名

めい
1名

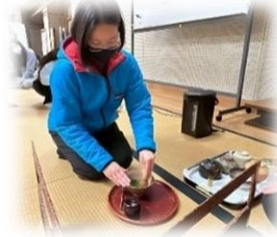
めい
1名

めい
2名

めい
4名

けい めい
計 22名

ねん がつ にちげんざい
2026年7月26日現在



ね ん ど お も ぎ ょ う じ
2025年度の主な行事

がつ
4月

- 6 入学式
い ち か い ふ い く け っ て い し ょ じ ゅ よ し き
7 一れつ会扶育決定書授与式
ぜ ん た い
全体オリエンテーション／クラス分けテスト
に ほ ん ご か
8 日本語科オリエンテーション
ぜ ん き じ ゅ ぎ ょ う か い し
9 前期授業開始
お や さ ま た ん じ ょ う さ い さ ん ば い
18 教祖誕生祭参拝
つ き な み さ い さ ん ば い
26 月次祭参拝
ぜ ん き じ ょ う い っ せ い
29 全教一斉ひのきしんデー参加 さ ん か

がつ
5月

- し ゅ う れ ん じ ゅ ぎ ょ う か い し
7 修練(おてふり)授業開始
げ ん ご べ つ け ん し ゅ う
9 言語別研修
げ ん ご べ つ き ょ う ぎ か い し
12 言語別教義開始
こ う り ゅ う か い
24 SATOM交流会
つ き な み さ い さ ん ば い
26 月次祭参拝

がつ
6月

- い っ せ い か つ だ う び さ ん か
1 ようぼく一斉活動日参加
し ん ぼ く か い
7 親睦会
た う
18 田植えひのきしん
つ き な み さ い さ ん ば い
26 月次祭参拝

がつ
7月

- ぶ ん か た い け ん わ だ い こ
2 文化体験(和太鼓)
し ょ う ぼ う ぐ ん れ ん
5 消防訓練
ぜ ん き け ん し ゅ う
11 前期研修
て ん り こ う こ う せ い こ う り ゅ う か い
14 天理高校生交流会
ぜ ん き し け ん
17 前期試験(～19)
ち ょ く ぞ く け ん し ゅ う
21 直属研修(～22)
つ き な み さ い さ ん ば い か く じ さ ん ば い
26 月次祭参拝(各自参拝)
25 こどもおちばがえりひのきしん(～31)
も や し ゅ く しゃ に ん じ や む ら
(38母屋宿舎、忍者村ひのきしん)
ぜ ん き し ゅ う り ょ う
31 前期終了

がつ
8月

- か き き ゅ う ぎ ょ う
1 夏期休業(～31)
つ き な み さ い さ ん ば い か く じ さ ん ば い
26 月次祭参拝(各自参拝)

がつ
9月

- ち ゅ う き じ ゅ ぎ ょ う か い し ち ゅ う き
1 中期授業開始、中期オリエンテーション
さ と や が い か つ だ う
12 さんさいの里ひのきしん、野外活動
つ き な み さ い さ ん ば い は き も の せ わ
26 月次祭参拝、履物世話ひのきしん

がつ
10月

- や ま べ し ょ う が つ こ う こ う り ゅ う か い
3 山の辺小学校交流会
ち ゅ う き け ん し ゅ う
8 中期研修(～9)
こ う が い が く し ゅ う お お み わ じ ん じ ゃ が
10 校外学習(大神神社、ぶどう狩り)
い そ の か み じ ん ぐ ら あ き ま つ り さ ん か
15 石上神宮秋祭参加

がつ
11月

- い ち か い そ う り つ き ね ん し ぎ て ん し ゅ つ せ き
19 一れつ会創立記念式典出席
い ね か
24 稲刈りひのきしん
し ゅ う き た い さ い さ ん ば い
26 秋季大祭参拝
い っ せ い か つ だ う び さ ん か
2 ようぼく一斉活動日参加
お や さ ま ね ん さ い と く べ つ て ん じ け ん が く
8 教祖140年祭特別展示見学
ち ゅ う き し け ん
12 中期試験(～14)
こ う り ゅ う か い
15 SATOM交流会
お や さ ま ね ん さ い と く べ つ て ん じ
16 教祖140年祭特別展示ひのきしん
こ う き じ ゅ ぎ ょ う か い し こ う き
17 後期授業開始、後期オリエンテーション
に ほ ん ご き ょ う ぎ じ ゅ ぎ ょ う か い し
18 日本語教義授業開始
つ き な み さ い さ ん ば い
26 月次祭参拝
ち ょ く ぞ く た ん と う し ゃ か い
27 直属担当者会
さ ん か
29 「ほこてんり」参加
お や さ ま ね ん さ い と く べ つ て ん じ
30 教祖140年祭特別展示ひのきしん

がつ
12月

- に ほ ん ご の り ゅ ぐ し け ん じ ゅ け ん
7 日本語能力試験受験
し せ き け ん が く
12 史跡見学
て ん り こ う こ う せ い こ う り ゅ う か い
15 天理高校生交流会
お お そ う じ
18 大掃除
と う き さ ゅ う ぎ ょ う
21 冬期休業(～1/4)

がつ
1月

- ほ ん ぶ
5 本部おせちひのきしん(～7)
じ ゅ ぎ ょ う さ い か い
9 授業再開
だ ん こ う り ゅ う か い
10 モンゴル団交流会
に ほ ん ご か
16 日本語科おつとめまなび・海外ふるさと寮大祭まなび
こ う わ な か や ま ま さ な お じ ょ う
(講話：中山正直次長)
こ う き け ん し ゅ う
23 後期研修
お や さ ま ね ん さ い と く べ つ
24 教祖140年祭特別ひのきしん(～30)
お や さ ま ね ん さ い さ ん ば い
26 教祖140年祭参拝
い ち か い ふ い く せ い そ つ ぎ ょ う れ い さ ん ば い
29 一れつ会扶育生卒業お礼参拝

がつ
2月

- こ う ち ょ う ぐ ん わ
12 校長訓話
たい か い こ う だ う
16 スピーチ大会(講堂)
そ う ご う
21 総合おつとめまなび(講話：上村雄郎校長)
こ う き し け ん
25 後期試験(～28)
つ き な み さ い さ ん ば い
26 月次祭参拝
こ う き し ゅ う り ょ う
28 後期終了

がつ
3月

- そ つ ぎ ょ う し き こ う れ ん し ゅ う お お そ う じ
7 卒業式予行練習、大掃除
そ つ ぎ ょ う し き そ つ ぎ ょ う し ゅ く が か い
8 卒業式、卒業祝賀会

卒業を前に



今年は
本当にありがとうございました！

早くまたみなさんに
会えるのを楽しみに
しています！

ホドリカ

イナシ

みんなが“進んでいる”
道の先に幸せが
たくさんありますように

皆さんから大事な
ことを学ぶことが
できたので今年も一緒に
陽気ぐらしのために
一生懸命頑張ります！
ましよう♡



大変なことがあっても、
あきらめないでね!!!
みんな がんばろう!♡

エミリ

毎日、お勉強のあとは
何を夜食にしようか楽しみ。
野菜不足にならないように
ちゃんと食べてね。



私と遊んでくれる
ありがとうー!

これからもよろしく♡

エイリン



TLIのみんな、いま
までほんとうにありがとうござい
ました!また さいかい できる ことを
なっかています、ひとり ひとり に
こころを つめて ハグを おくけ

ケフジ

2025

みんな
愛してる

リョウ

家族と友達
に会いたくなけれど
おがばに いる から、たくさん 種
を 蒔いて、幸せな 毎日を
過ごすことが できました
新しい 友達と 先生たちの
おかげです。
ありがとうございます
マナミ

一年間本当に
ありがとうございました
みなさんと一緒に勉強できて、
とても楽しかったです
これからは夢に向かって
またどこかで 頑張ります
会えたらうれしいです
-ハナ-

先生と皆さん
一年感謝です。
一年間一緒に頑張ってく
れてありがとう。

ティ

一年間皆さんと
一緒に過ごせて本当に
ありがとうございます!
これからは よろしく お願い
します!!

ミンキ

みんな がんばりましょう!
何か質問があれば、
ぜひ せんぱいに 聞いてね。

ジュン

謝謝

Gracias

고마워

ありがとうございました!

Obrigada

Bagpuss

ミチ



この一年間、本当に
ありがとうございました。
みんなと一緒に過ごした時間は、
どこにいてもきっと大きな力になると
思います。これからもそれぞれの場所で
楽しいことがたくさんありますように。
また、笑顔で会おうね!!

スイン



TLIをいっばい
楽しんでね!!



ミチ

あの一年はみんなのきん
が、たくさんありました。
大変でしたが、とても
楽しかったです。P

カンジ

オリゴ
大変ですね...

でも、だんだんよくなって
日本の生活が楽しくなる
から、毎日喜んでがんばって

ください。あーそうし
かみしやることも
忘れないでね。



21

死ね気で
日本語を勉強
しよう!

リー



21

TLIの一年間
いろんな経験をして、自分も
成長できたと感じています。
先生たちと皆さん、本当にありがとう
ございました。
これから、頑張ります。

チェリー



それぞれの所で
頑張ろう!
応援してるよ

しん かんみ



じゅぎょうたんとう かいがいぶ いん かたがた けいしやうりやく
授業担当の海外部員の方々(敬称略)

げんごべつきやうぎ
◎言語別教義

北京語: 井手 勇
韓国語: 渡邊 健二
ポルトガル語: 香山 光
スペイン語: 足立 正悟
モンゴル語: 高橋 オランコア

きやうぎ にほんご
◎教義(日本語)
うえむらたけお おくのよしまさ
上村雄郎、奥野善雅

しゅうれん
◎修練(おてふり)

こうだまさのり さとうはるき たなかよしゆき
幸田正則、佐藤治希、田中吉之

しゅうれん なりもの
◎修練(鳴物)

かみむらしょうへい うちだあきひろ さい か し あきひと こうよしあき
上村正平、内田明宏、才加志明人、洪善明、
たけわ こうじろう かとう ささだり か なかやま え
武輪浩次郎、加藤もとえ、笹田理香、中山みち栄

げんごべつけんしゅう
◎言語別研修

スペイン語: 福田吉次、足立正悟
韓国語: 加藤もとえ
中国語: ツォン モンツォン
鐘 孟 璉
モンゴル語: やまじまさ と
山路雅登
ポルトガル語: うちだあきひろ せんた
内田明宏、仙田トモミ

かんじ
◎漢字

ひ み たいひろ うえだ みづき おかもと ほなみ
比見 太洋、植田 美月、岡本 帆未、ワン

こうちやう うえむらたけお
校長 上村雄郎
じむちやう よこやまたくろう
事務長 横山徳郎

にほんご か ねんど
日本語科スタッフ(2025年度)

さいとうひさよ よこやま た え こ かみむられい こ
齋藤寿代、横山多恵子、上村玲子、

オオクラ真喜、山口育恵、梶本たつみ、森倉はづき

にほんご かじゆん ねんど
日本語科準スタッフ(2025年度)

おおにしあいり はしもと の
大西愛理、橋本しな乃

にほんご きやういふく ねんど
日本語教育センター(2025年度)

よこやま た え こ
横山多恵子

たいふ
退部のスタッフ

やまぐちいづえ ねん がつ
山口育恵 (2026年3月)

かいがいしゅつこう
海外出向のスタッフ(ヨーロッパ出張所)

おおば あ す か
大馬明日香



ふほう
訃報

せいぜん いとく しの つし あいとう い ひやう
ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。



ねん がつ にち
2026年1月17日

なかじま ひではる せんせい
中島 秀春 先生

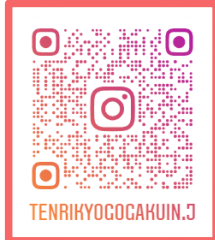
とうあい もとに にほんご か こ だいこうちやう
(東愛/元日本語科スタッフ・五代校長)

氏名	通称	国・地域	直属
安田 佳菜	カナ	ベトナム	兵神
白 琇程	スジョン	韓国	敷島
呉 水英	スヨン	韓国	中津
姜 秀眞	スジン	韓国	岐美
趙 東麟	ドンイン	韓国	八木
姜 秀斌	ヒカル	韓国	京城
潘 烈萌	レモン	台湾	山名
黄 音慈	フィオナ	台湾	櫻井
林 柔筠	ローイン	台湾	嶽東
江 東垣	ドン	台湾	笠岡
Tsog-Erdene Davaakhuu	ツォグーナ	モンゴル	筑紫
Aileen Misaki Yagi	ミサキ	アメリカ	名京
João Victor Moura de Almeida Andrade	アンドラーデ	ブラジル	兵神

氏名	通称	国・地域	直属
坂口 エジール 芳國	ヨシクニ	ブラジル	兵神
Alberth Issamu Kawano Kimura	イサム	ブラジル	河原町
谷尾 守	マモル	ブラジル	南海
平澤 黎凜	レイ	ブラジル	湖東
Massashi Rafael Kuroiwa	マサシ	ブラジル	高岡
Cristiane Tamily Sato	タミリ	ブラジル	那美岐
Yasmin Blumtritt Ohnuma Wada	ヤスミン	ブラジル	小南部
Gabriel Kazuki Onishi	カズキ	ブラジル	中背
Rimi Jacome Otonari	リミ	コロンビア	島ヶ原
Alejandro Posada Asprilla	アレホ	コロンビア	津
Catalina Cardona Hurtado	カタリーナ	コロンビア	繁藤
Juan Carlos Ruano Rueda	フアン	コロンビア	繁藤

てんりきょうごがくいんにほんごかりつきょうねんどにゅうがくせい
天理教語学院日本語科

Instagram



てんりきょうごがくいん
天理教語学院 (TLI)

Facebook



たいしょう 対象

- ・ TLI 日本語科卒業生・在校生
- ・ TLI スタッフ、海外部スタッフ、人材派遣生
- ・ 卒業生・在校生の家族や直属の関係者

たいしょう 対象

- ・ TLI 卒業生・在校生
- ・ TLI スタッフ、海外部スタッフ、人材派遣生
- ・ 天理大学別科卒業生
- ・ 卒業生・在校生の家族や直属の関係者

お知らせ

PDF版「ふるさと」を第三者へ転送しないよう、ご協力お願い致します。

天理教語学院は2020年4月1日から、おやさとかた東右第4棟に移転しました。

〒632-0014 天理市布留町200番地1 天理教語学院 日本語科

Tel:0743-62-5615

Fax:0743-62-5625

E-mail:tlijps@gmail.com